

□議員名：中岡英二

1 きらら交流館に係る基本計画について

論点	きらら交流館改築に至った背景と目的は何か。
回答	開館から20年が経過し、入浴施設の給湯設備が更新時期になり施設の老朽化に対応する時期である。現在は宿泊研修施設から観光交流施設としての側面が強くなり、利用者ニーズの多様化を受けて再整備を検討することになった。

論点	きらら交流館のリニューアルコンセプトの中での焼野海岸・竜王山の体験活動利用拠点とは、どういうイメージなのか。
回答	焼野エリア一帯の周遊・アウトドア活動体験のサポート・情報案内や体験プログラムの提供・自然観察やマリンアクティビティグッズの貸し出しの利用イメージを想定する。

論点	市民の心身共に健康な暮らしをサポートする生活交流拠点とは、どういうイメージなのか。
回答	健康づくり・物産振興・交流として温泉施設・サイクリングやウォーキング・ジム・スタジオ・地元製品の直売スペース・カフェ・遊具広場などを利用イメージとしている。

論点	今後の観光等の情報発信は、紙媒体らSNSを活用した情報発信を進めていくべきではないか。
回答	SNSの発信の中でも若い世代の情報ツールであるインスタグラムに力を入れて、タイムリーな情報を発信していく。

論点	アンケート結果で7割の方が入浴を目的とあるが、入浴施設は充実させていくのか。
回答	内装のリニューアルにより使い勝手が良くなる配置の工夫を検討している。トロン温泉の設置は、定期的な更新費用・ランニングコストも掛かるので、改修事業全体を見ながら検討していく。

論点	竜王山オートキャンプ場にある使用されていないトレーラーハウス3台は、どうするのか。
回答	これから予算審議して、令和4年度予算に撤去予算を計上してから撤去を実施していく。

論点	令和3年8月の長雨で本山岬の岩壁が崩落したが、その復旧はいつ頃になるのか。
回答	令和4年度予算に、法面安定対策工事を計上し予算が確保されたら、新年度の早い時期に発注し工事を完了していく。

## 2 バス優待乗車証の実施に向けて

論点	バス優待乗車証の本市への導入費用と事業効果をどのように考えているのか。
回答	その経費は約7,000万円と考えられ、全額市の一般財源の負担となる。高齢者福祉サービス全体の費用を考え、高齢者福祉サービスの優先度を考えていく。